

すごいぞ！ 名産品

教師用ガイド

中高学年向き 6 時間

概要

この単元は、子どもたちが生活している郷土の良さを紹介しようというものである。郷土の良さにはいろいろあるが、名産品はその土地の特徴（気候・地形・歴史など）が凝縮されて作られているものである。この自慢できる名産品に焦点を当てて、地域の人々が訪問客とふれ合うようすを調べたり、取材したりして収集した情報を自分なりに集約、編集などの処理をして紹介することを通して郷土を深く知ることになる。また、相手の立場を考えた取材のあり方や、伝え方・文章構成などの表現力を育てていくことができる。

ねらい

- ・ 名産品に関わることを通して自分たちなりに郷土の良さを見つけることができる。
- ・ 名産品の良さや特徴を文章や画像でわかりやすく表現する努力を通して、宣伝効果を高めるには、どんなことをすれば効果的にできるかを知ることができる。

情報教育としての目標

- ・ メディアを使って名産品の特徴を具体的に調べることができる。
- ・ 地域の人々や訪問客に郷土の名産品について取材することを通して、自分が求めようとする情報を入手するための質問を考えたり、特徴や画像を的確に収集したりすることができる。
- ・ 集めた情報を編集処理して、相手に伝わりやすい文章や画像で表現することができる。

単元の進行

Step 1 郷土の名産品を見つけよう（1 時間）

郷土の名産品を見つけよう！（1時間）

- ・ ホームページのURLや公共施設の電話番号などの一覧にして

- ・取材のことを考えて、範囲を広げすぎずに、できるだけ身近なものを取り上げさせる。
- ・電話のかけ方の練習をさせておく。

Step 2 名産品探検隊 出発！（3時間+課外）

名産品を決めて取材計画を立てる（1）

- ・名産品をグループに分け違う物を取材するよう指導する。同じになった場合も取材場所を別にし、取材後に情報交換をさせるとよい。
- ・名産品を製造や販売している人や場所だけでなく、購入する立場の人を取材させる。
- ・質問文を考える時に自分が何を調べたいのか明確になる文章を考え言えるようにしていきたい。また、グループ内で練習させておくこと不安や緊張が薄れ意欲を高めさせることができる。
- ・取材時の予約をするとき電話で失礼のないように練習をさせておくことよい。

取材に出かけ郷土の名産品を調べよう（2時間+課外）

- ・訪問取材に際して、約束の時間に遅れないようにさせる。
- ・課外としたのは、複数の場所や人を取材し郷土との関わりを深めようとの意図があるからである。

Step 3 宣伝広告をつくり名産品を紹介しよう！（2時間）

取材してきた事柄をまとめる。（1時間）

- ・まとめるには、キャッチコピーをつくりながら箇条書きにさせ、広告テンプレートにそのまま貼れるようにまとめさせる。

宣伝広告をつくる（1時間）

- ・テンプレートを用意しておくこと、作業の能率は上がるが、高学年で慣れてきた時は自分たちでレイアウトから考えさせることも必要である。
- ・広告内容は、取材した時のエピソードや改めて名産品の良さを見つけたときの感動などを書くようにすると、一枚の広告ではあるが多くの伝えたい思いを見る人に伝えることができることを実感させたい。

実践にあたっての留意点

取材時の留意点

- ・ 電話のかけ方の指導を事前しておく。
- ・ 名産品を作ったり売ったりする側だけでなく、買う立場の人たちにも取材させるとよい。

情報機器取り扱いのスキルについて

- ・ ビデオカメラやデジタルカメラの撮影方法については、別の機会に練習しておく必要がある。
- ・ コンピュータへの入力（文字入力、画像取り込み）は機会のあるたびに練習させておきたい。

取材後の処理について

- ・ 新聞広告など参考になるものを用意しておくといいでしょう。
- ・ テンプレートをいくつか用意しておく配慮も必要です。